

令和2年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	ノースファミリー実行委員会
事業名	<しもねり・かわら版>みんなで創るよ！宿場の絆！！

1 令和3年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする。

2 令和2年度の実績

[活動実績]

- ①『しもねり・かわら版』（以下、『かわら版』）第6、7号発行（各10,000部）
および、リニューアル号（第8号）の発行（5,000部）
- ②謎解き企画「北町謎解きタイムスリップ」の開催
- ③ホームページ「しもねり・かわら版WEB」、LINE公式アカウントの開設
- ④SNSによる情報発信（Facebook投稿58件、Twitter投稿69件）
- ⑤アンケートによる『かわら版』の影響力等調査
（LINE登録者および店舗・施設等で配布 回答122件）

[賛同者、協力者]

- ①Facebook フォロワー（129人） ※前年比約29人増
- ②LINE友だち登録者（172人） ※令和2年度開設
- ③『かわら版』紙面参加者（ライター 2名、読者投稿等 延16名）

3 令和2年度の評価

ホームページの作成や『かわら版』の発行など、着実な活動実績を積み上げている様子がうかがえます。また、3年間のプロジェクト期間終了後の事業継続を見据えたパートナー制度を立ち上げ、新規メンバーやスポンサーを獲得した点については、評価ができます。

今年度をもって、区の補助金と伴走支援が終了します。これまで3年間着実に『かわら版』を発行し、住民への認知度も高まってきました。しかし、活動を続けていくうちに、『かわら版』を発行すること自体が“目的”にならないよう、注意する必要があります。区の支援が終了するこのタイミングで一度立ち止まり、「地域と若い世代とのつながりを作る」という事業目的に立ち返って、活動の整理を行う必要があるでしょう。そして、地道な町会・商店会等の組織との関係づくりを怠ることなく続けていってください。

また、『かわら版』を発行し読者を増やすだけでは、目的の達成は見込めません。読者は地域の住民でもあり、消費者でもあります。スポンサーとなる商店を取り込むためにも、消費者としての読者の意見を吸い上げ、収益化につなげる仕組みを構築していくと、活動が安定したものになるでしょう。

今回の指摘事項を踏まえた事業計画を作成し、その内容を区が適正に審査することを条件として、事業の継続を認めます。今後も、北町のよりよい地域づくりのための活動を期待しています。